

報道関係者 各位

令和6年4月22日
四国大学／四国大学短期大学部
学長 松重 和美

四国大学文学部日本文学科 「文章表現・創作コース」の新設について

平素は本学の教育研究活動にご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

若手小説家の登竜門とされる文学賞で立て続けに入選を果たした本学文学部日本文学科在籍の石澤遥さんを筆頭に、近年、当学科の学びを通じて思考力や想像力を磨き、言語表現を極め、文芸創作に取り組み、実績をあげる学生が養成されつつあります。

近年の文学部日本文学科学生の文学賞受賞の実績

第19回「とくしま文学賞」小説部門・最優秀賞	／石澤 遥
第40回「織田作之助青春賞」受賞	／石澤 遥
第30回「三田文学新人賞」佳作	／石澤 遥
徳島新聞第25回「ポエムランド」年間賞	／鍋島 大輝
第19回「とくしま文学賞」小説部門・優秀賞	／菊池 匠



三田文学新人賞授賞式懇親会の模様

当学科には、基礎的な文章表現の習得に始まり、現代の小説を読み解き、文学理論や思想、哲学も視野に入れつつ文学作品の実作に取り組み、創造的な表現を作り上げることのできる学びがあります。また、今後は文芸創作のみならず、実務的な文書や批評・論説文まで、生成系AIなども活用し、様々な言語表現を極めることを目標とします。これら文章表現に関する学びを体系的に構築した新しいコース「文章表現・創作コース」を令和7年度入学生より日本文学科に新設します。

このことにより、四国大学文学部日本文学科には専門的教育内容を提供するコースが「日本文学コース」、「日本文化史コース」、「文章表現・創作コース」の3コースとなり、日本の言語、文学、歴史、文化を深く学び、その魅力を探求する多様な授業を受講できる環境がさらに充実します。

<本件に関する問合せ先>

四国大学 広報課

TEL: (088)665-9906

四国大学 文学部

2025

日本文学科

日本文学コース／日本文化史コース／文章表現・創作コース



つむぐ、つながる、はばたく
SHIKOKU UNIVERSITY
1925 ▶ 2025 100th Anniversary



日本の言語、文学、歴史、文化、その魅力を探究する

日本文学では、日本の言語、文学、歴史、文化を深く学び、専門的な研究方法を身につけることで社会に寄与できる人間性豊かな教養人を育成します。

学びの特色

三つのコースを横断して、授業を受けることができます。

日本文学 コース

日本文学の魅力を探り
謎を解き明かす

古典から現代まで幅広く、かつ深く文学を探究します。文学研究のほか日本語学など多彩な研究領域を持ちます。



日本文化史 コース

日本の歴史を学び
未来への希望を開く

日本文化とその歴史、さらに東洋と西洋の文化交流の歴史を学びます。神話、宗教、歴史、民俗学など幅広い分野を研究します。



文章表現・ 創作コース

思考力や想像力を磨き
言語表現を極める

実務的文書の作成法、批評文・論説文、文芸創作まで幅広く学びます。生成系AIなども活用し多様な文章表現法を修得します。



日本文学学科の目指す教育内容

思考し、判断し、表現し、伝えることを念頭に置き、論理的、実務的な文章を書く力を養います。実践指導を通じて即戦力として社会で活躍できる人材を育成します。

2023年度 卒業研究 テーマの例

- 高知方言におけるアスペクト表現形式について
- 『西遊記』における孫悟空のルーツについて
- 漫画のオノマトペの翻訳における表現の差異
- 『源氏物語』と『あさきゆめみし』—六条の御息所を中心に—
- 安倍公房「砂の女」論—メビウス・トリップの世界—
- 『蜻蛉日記』における「移ろひたる菊」解釈
- 「舞姫」としての豊太郎
- 西行の月の歌 西行にとっての月とは
- 小説創作「羽虫」
- 徳島市の移動図書館—いずみ号を中心に—
- 小説創作「居場所」
- 日本古代における律令裁判制度の研究—奈良平安期を中心に—
- 『三国志演義』における妖術師たちの役割
- 文六寺所蔵『識遺編』にみる近世僧侶の生活と旅

4年間の学びの流れ

1年次



基礎知識を身に付け、 文章力を養う

高校の既習範囲を振り返り、大学での学びの基礎となる知識を新たに身に付けます。また、レポートや批評文を書くために必要な文章力を養います。

文章表現法 I・II

入学から一年間で、手紙・電子メールなど、就職活動で必要とされる実用的な文章表現のマナーから、レポート・批評文・評論文など、思考を正確に伝える論理的な文章表現の実践まで、少人数クラスで一から丁寧に学びます。

2年次



思考力を培い、 表現力を高める

2年次から各分野の演習授業が始まります。個人やグループで調査・分析を計画に沿って進め、研究成果を発表するという経験を通して、自己表現力を高めていきます。

文芸創作 I

文芸創作の授業では現代の小説を読み解き、文学理論や思想、哲学も視野に入れつつ文学作品の実作に挑戦します。書いた作品は文学賞に応募します。

3年次



少人数講義で 個々の専門性を伸ばす

3年次では、各人の関心領域に応じて、より専門的な内容の講義・演習授業を履修します。秋からは卒業生茶話会などの学科独自の就活支援を行います。

専門研究 I・II

言語学・古典文学・近代文学・中国文学・日本史・図書館学・小説創作など、幅広い研究を行う学科教員10名のもとで開講されるセミナーです。演習発表と意見交換により、ゼミ生同士が互いの研究テーマを深めていきます。

4年次



研究テーマを探求し、 見出した成果を発信する

4年間の大学生活での学びの集大成として、卒業研究(論文・文芸創作)に取り組みます。中間発表会(10月)・最終発表会(2月)を経て、学士(文学)号を取得します。

卒業研究 I・II

4年間の集大成として、論文(文学・文化史・図書館学)か創作(詩・小説ほか)のどちらかを選択して、指導教員やゼミの仲間と協力しながら完成に向けて進めていきます。

卒業後の 進路

中学校・高校教員、図書館司書、博物館学芸員など、免許・資格を活かして活躍している人が多く、また公務員・一般企業などへも広く進出しています。さらには学内外の大学院へ進学し、研究を続けている人もいます。

最近の主な 就職先

〈進学〉四国大学大学院、國學院大學大学院、佛教大学大学院、鳴門教育大学大学院
〈就職〉【中学校・高等学校】徳島県・佐賀県・岡山県・神奈川県公立中学校、京都府・愛媛県公立高等学校、村上学園高等学校。
【図書館・博物館】岡山大学附属図書館、鳴門市立図書館、徳島県立文書館、埋蔵文化財センター(徳島県・愛媛県)。
【その他公務員・企業など】日本郵便、徳島市役所、阿波銀行、伊予銀行、徳島新聞ネクストなど多数。

分野別入試 [芸術・メディア・ダンス分野]

日本文学科では優れた文章力や、芸術的感性を持つ学生に対し、その才能を在学中に一層伸ばしてもらうための支援体制を整えています。

A区分合格者 ▶ 奨学金 年間 800,000円

●四国大学富士正晴全国高校生文学賞において大賞、優秀賞、奨励賞を受賞した者●全国高等学校文芸コンクールにおいて最優秀賞、優秀賞、優良賞を受賞した者または入選した者●青少年読書感想文全国コンクールにおいて、都道府県代表として認められた者●とくしま文学賞の各部門において最優秀賞を受賞した者●徳島新聞感想文コンクールの高校生部門において最優秀賞、優秀賞、優良賞を受賞した者 その他

B区分合格者 ▶ 奨学金 年間 400,000円

●四国大学瀬戸内寂聴青春エッセイコンクールにおいて大賞、優秀賞、奨励賞を受賞した者●四国大学富士正晴全国高校生文学賞において佳作を受賞した者●俳句甲子園の団体の部において優勝、準優勝、三位となった者、または団体奨励賞を受賞した者●青少年読書感想文全国コンクールにおいて、都道府県審査会で特選となった者●とくしま文学賞の各部門において優秀賞、佳作を受賞した者 その他

高等学校在学中に上記の出願要件のいずれか一つに該当し、分野別入試に合格し入学した者は、区分に応じて毎年特別奨学金(返還義務なし)が給付されます。詳しくは「令和7年度入学試験要項」または「総合型選抜GUIDE BOOK」、「四国大学ホームページ」をご覧ください。

※この学科パンフレット記載の要件や金額については、令和7年度入学生に限り適用します。令和8年度以降については、見直しを検討中です。



富士正晴 全国高校生文学賞

対象は高校生。文芸部の部誌、または個人の小説作品。大賞1点、優秀賞3点、奨励賞6点の受賞者10名には、「四国大学分野別入試A区分」・佳作10点の受賞者には、「四国大学分野別入試B区分」の受験資格が与えられます。

詳細は
こちら



瀬戸内寂聴 青春エッセイコンクール

対象は高校生。個人のエッセイ作品原稿用紙換算5枚以内。大賞1点、優秀賞3点、奨励賞6点。各賞の受賞者10名には、「四国大学分野別入試B区分」の受験資格が与えられます。

詳細は
こちら



近年の学生の文学賞の実績&受賞者Interview



第19回「とくしま文学賞」小説部門・最優秀賞 / 石澤遥

第40回「織田作之助青春賞」受賞 / 石澤遥

第30回「三田文学新人賞」佳作 / 石澤遥

徳島新聞第25回「ポエムランド」年間賞 / 鍋島大輝

第127回文学界新人賞・第2次予選通過 / 鍋島大輝

第19回「とくしま文学賞」小説部門・優秀賞 / 菊池匠

Interview



石澤 遥

2021年度日本文学科入学
岩手県立盛岡第四高等学校出身

Q 大学生生活は楽しいですか？

A 高校と比べてできることの範囲が広がったのが楽しいです。具体的には時間割が自分で選べるので、平日の昼間にしか行けないところにも行けるし、夜も自由な時間がとれるのでいろいろなことができます。

Q 四国大学で学生生活を送ってみての感想は？

A 先生方と学生との距離が近いと思います。先生に落語を紹介してもらったり、授業に関連する漫画を貸してもらったり、今までにない経験をさせていただきました。

Q 勉強しながら小説を書くのは大変では？

A そんなに大変と思ったことはありません。むしろ専門科目の授業は日本文学に関わる内容なので、やりがいを持って講義を受けられるし、学んだことが小説の創作にも生きています。

Q 文学賞の受賞の知らせを受けた時の率直な感想は？

A 「信じられない」という気持ちでした。新聞や雑誌に公式発表してもらったり、受賞した作品や講評を実際に読んでみて、実感が湧いてきました。

Q 今後の抱負は？

A リアリティのある描写を突き詰めたいです。描きたい対象を目にした時に、それをどれだけ言葉に落とし込めるかが勝負だと思っています。

取得可能な資格

高等学校教諭一種免許状 (国語・書道) 中学校教諭一種免許状 (国語)

中学・高校で国語教員として教壇に立つための資格です。教員志望者を対象とした試験対策ガイダンス、全国規模の模擬試験(年2回)、教員として活躍する卒業生との座談会などを実施しています。

「近代文学講読(児童文学を含む)」

授業紹介

通史的な視野で文学を解釈する方法を学ぶ授業です。芥川龍之介や川端康成、宮沢賢治や巖谷小波などの作品を読み、互いに意見交換をしながら自分の解釈を表現していきます。

「国語科指導法Ⅳ」

ICTを導入したこれからの「古典」授業の可能性について考える実践的な授業です。電子黒板やLMSなどを活用するための技術・指導方法を習得します。

博物館学芸員

博物館のスペシャリストである「学芸員」を目指します。徳島で長年の学芸員経験を持つ教員が実践的に指導します。企画力・運営力がつく資格です。

「博物館展示論」

授業紹介

文化の森の徳島県立博物館で実施される授業です。学芸員の方から、展示の構成方法や説明文の書き方、広報活動など、博物館展示の企画・運営方法を学びます。

「博物館実習Ⅲ」

学外での博物館実習を前に、学生たちが自分たちの手で展示会を企画します。四国大学の貴重資料の中から毎年テーマに沿った展示を行っています。

凌霄文庫
2024年度
展示テーマ

「源氏物語の魅力」展(8月～)

四国大学図書館1階展示コーナー

※凌霄文庫(りょうしょうぶんこ)とは

郷土史・染織研究者として知られた後藤捷一(1892-1980)が収集した「凌霄文庫」は、阿波を中心に四国とその周辺に関する歴史・地理・文学など1万7千点に及ぶ膨大な資料群です。その中には、度々博物館で展示されるなど文化的価値のある貴重な文献も数多く含まれています。

図書館司書・ 司書教諭・学校司書

地域の図書館で働く「司書」、学校図書館を担う「司書教諭」「学校司書」の3つの資格課程を開設しています。読書や情報活用に関する専門知識を習得します。

「情報サービス演習」

授業紹介

本やインターネットなどの情報資源の探し方を学ぶ授業です。図書館での演習を通して、情報サービスの設計から評価、利用者の質問に対するレファレンスサービスを知り、情報を検索する実践的な能力を養成します。

「学校経営と学校図書館」

学校図書館に関する基本的な知識を学びます。なぜ学校に図書館が必要なのか、その歴史と仕組みを解説します。情報活用能力の育成や、読書バリアフリーについても扱います。

図書館魅力発信グループ 「テニトル」

図書館好きの学生有志で展示活動を実施中!グループ名には、本を手にとってほしいという願いが込められています。



詳細はこちら



登録日本語教員 受験資格(申請予定)

日本語を母語としない学習者に日本語を教えるのが「日本語教員」です。近年、国内企業や学校などさまざまな現場から求められている存在です。日本文学・文化について学びながら、グローバル社会の最先端で活躍する力をつけることができます。

「日本語教授法」

授業紹介

学習者の目的やレベルに合った教授法や教材を選ぶ方法を学びます。四国大学の外国人留学生のための日本語授業の見学も行います。



「日本語音声学・音韻論」

外国人に日本語を教える教員として必要な、日本語の発音の知識やルールなどを勉強します。五十音図の仕組みに始まり、日本語の子音や母音、アクセントやイントネーションがどのように発音され使い分けられているのか、などを学んでいきます。

詳細はこちら



先輩の声 Part1



就活については周り比べて遅いスタートでした。しかし、日本文学科で得た語学力や思考力、コミュニケーション力は、様々な難関において私を助け、自信を与えてくれました。周りの先生方や友人、家族の皆には感謝してもきれません。文学部での学びが、皆さんにとって新たな可能性の発見につながることを願っています。

田村 真尋 2023年度卒 徳島県警察



先輩の声 Part2



私が就活を本格的に始めたのは4年の夏でした。それまで東京の区役所職員を目指していましたが上手いかず、思い切って民間企業に舵を切りました。挫折しても最後まで諦めずに行動に起こせば未来は良い方向に動いていきます。就活に卒論、大変なことがこれからたくさんありますが、途中で投げ出さずどうか最後まで真剣に向き合ってもらえたらと思います。

岩崎 怜奈 2023年度卒 阿波銀行



先輩の声 Part3



文学部の先生方は皆とても親切で、困ったことや理解できないことがあればどの先生にでも助けや解答を求めることができました。日本文学科では、1年生から始まる基礎的な科目から、3年生や4年生向けの高度な科目まで、段階的にさまざまな知識を学ぶことができました。学習環境も快適で、図書館や日本文学科の教室など、どこでも集中して学習や読書に没頭することができました。4年間を振り返ると、忘れられない貴重な時でした。

李 嘉輝 2023年度卒 四国大学大学院文学研究科合格



君の未来！

OPEN CAMPUS 2024

4/27 SAT

6/9 SUN

7/7 SUN

7/28 SUN

8/24 SAT

プチ・オープン
キャンパス

11月芳賀祭の
9日[土]・
10日[日]に
同時開催

参加者全員に
オリジナルグッズ
をプレゼント!!

学びたい気持ちを応援します！

高等教育の修学支援新制度

本学は、高等教育の修学支援新制度の対象機関として文部科学省から認定されています。この制度の対象者は、授業料・入学金の免除または減額（授業料等減免）と給付奨学金の支給（日本学生支援機構）を受けることができます。

資料請求は

四国大学 広報課

☎ 0120-65-9906

<https://www.shikoku-u.ac.jp/request/>

文学部 日本文学科

<http://www2.shikoku-u.ac.jp/hpnb/>



人が集まる「人」をつくる、大学。



〒771-1192 徳島市応神町古川字戎子野123-1
TEL 088-665-1300 FAX 088-665-8037
<https://www.shikoku-u.ac.jp/>



2024年4月発行